O3O 鎌倉時代 政治史4 御家人連立政権

<北条氏歷代執権!	> (3	<u> </u>		
ギ タイ ケイ ライ シュウ テイニ	lウ!	()	
<u>義 泰 経</u> 時 時 <u>貞</u> 嘉	<u>5</u>	条	からなる	
時 時 <u>頼</u> <u>宗</u> 時 時	寺	武家初の法典。		
			の先例	
<尼将軍>姉		の慣習法		
<執権>弟		=()	
◇後鳥羽上皇の		※朝廷の	 \t	←律令プラス
に恐怖しながら、の	むに	公家の	も同時に	←荘園内の紛争処理
勝利、御家人を守った。源氏	将軍	き	持つ。	
滅亡後のリーダーとして認められた。		〔式目の適用範囲は		
◇北条義時急死(61歳)、相続混	乱。		(५०	
が次男の北条を		>のちに式目	が追加されると	2
後継指名。		r	と呼ばれ	1
<執権>		る。室町幕府での追加分は、		
◇		r	\ ر	_
朝廷の		呼ばれる。		
の統轄。		鎌倉幕府も室町幕府も基本		
◇cf 地	頭	法典は同じ		_
後に置かれた地	頭。			
の最低収入保障				
田畑				
1段あたり				
◇御家人連立政治の確立				
◎御家人「泰時殿はだか	心奄			
達のとは認めないぜ。	L C			
◎後ろ盾の尼将軍 死	去。			
⇒御家人連立政権を模索。				
① の設置(執権の補佐)			
泰時の叔父				
②の設置				
人の有力御家人からなる	る			
連立政権(制)				